

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0172902504		
法人名	株式会社 アクティブ・ケア		
事業所名	グループホームユニティー旭神(こはく館)		
所在地	旭川市旭神2条4丁目10番4号		
自己評価作成日	平成30年1月	評価結果市町村受理日	平成30年2月21日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.hlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail.2017.022_kan=true&amp;JigyosyoCd=0172902504-00&amp;PrefCd=01&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.hlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail.2017.022_kan=true&amp;JigyosyoCd=0172902504-00&amp;PrefCd=01&amp;VersionCd=022</a>
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成30年1月31日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者様の心身の健康が維持され、「出来ること」を少しでも長く継続ができるように支援をしております。  
近隣に旭神中央公園があり盆踊りに参加したり、地域の行事や親睦会に参加をしております。  
平成25年より「みのりの会」も続いており、お食事やおつまみに工夫を凝らしノンアルコールビールと一緒に楽しませております。毎月レクリエーションもおこない、夏は外食・外出をし冬は室内でのミニ運動会やご家族様参加の忘年会もおこない楽しみの持てる時間が増えるように考えております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「グループホームユニティー旭神」はバス通りから少し奥の住宅地にあり、建物の2階と3階が住まいの2ユニットの事業所である。1階に法人が経営するデイサービスが併設しており、避難訓練を合同で行い緊急時に備えている。事業所の夏祭りには住民やデイサービス利用者も参加して催しを楽しんでいる。通りに面して大型スーパー、飲食店、菓子店などや、近隣に「旭神中央公園」があり、暖かい時期には公園を散歩したり外食や買い物を楽しんでいる。近隣の公園で行われる町内会の盆踊りを見学し、枝豆などを食べて住民と交流している。開設10年が経過する中で、2年前に交代した管理者は職員と共に課題にも積極的に取り組み、各書類の内容を再確認して整えている。2か所の協力医療機関の往診の指導の下で、重度化にも対応している。職員の育成では法人の研修体制に沿って、入社時から2年間に継続的に学びながら振り返りを行い、利用者を尊重した個別支援に取り組んでいる。家族の協力を得ながら馴染みの関係を継続して支え、利用者の希望を聞きながら個別の外食や外食を可能な限り対応している。利用者の好みで寿司の出前や弁当を購入したり、屋外で焼き肉を行うなど、食事風景を工夫して楽しさを提供し、また毎日でも入浴ができる態勢で一入りの意向に沿い、職員間の連携で対応している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価(こはく館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	『地域活動への参加を積極的に支援し地域に根差したサービスを提供』という事業所理念を掲げ職員間で共有しています。	事業所理念と運営方針を要所に掲示し、運営方針には地域活動に参加する内容が盛り込まれている。介護計画の見直し時に地域との関わりを確認したり、会議で理念の内容に触れて話し合うこともある。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し資源ゴミへの協力や、町内清掃活動をおこなっています。	町内会の芸能の集いや盆踊りに参加して住民と交流している。夏に旭川で行われる北海道音楽大行進を見学し、冬まつりには車窓から雪像などを観て市民と触れ合っている。散歩中に近所宅の庭で幼児の水遊びを眺めて楽しむこともある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域に向けての勉強会は開いていませんでした。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1度、開催し町内の方、ご家族からの意見を取り入れています。	会議では行事や研修、外部評価、水害時の土砂崩れ、感染症などを話題に意見を交換している。今後はテーマを設定してミニ勉強会も行い、意見や情報交換を議事録に記載して、参加できない家族にも会議内容が分かるように議事録の作成を考えている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議の時に、市の方に相談をし意見を仰いだり直接、市役所へお話を聞きにいきます。	利用者の状態から行政のリハビリ専門職員の派遣について相談をしている。介護更新手続きの際や、生活保護課の担当者とは必要に応じて密に連絡している。行政主催の研修会に職員も参加してケアに活かしている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会の議事録は職員が目を通すようになっています。ベットからの離床で転倒の危険がある方や外出した事がわかるようにエレベーター・階段戸にも赤外線センサーを設置しています。	事務所に「禁止の対象となる具体的な行為」を掲示し、ケアの中でも確認している。現在2事例が安全面や家族の意向でベッド柵での拘束も見られる。毎月カンファレンスで家族とも話し合っているが、拘束の意味を再確認して期間短縮の必要性も感じている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止等は委員会や講習参加者の報告書を回覧し確認しています。リビングには監視カメラを設置し虐待等があれば再確認できるようになっております。		

グループホームユニティー旭神

自己評価	外部評価	項目	自己評価(こはく館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	『成年後見制度』の講習会に参加しております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	新規契約時に契約書・同意書の説明をし質問を受けながらおこなっております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱の設置や職員にも気軽に話していただけるように面会時にはご家族とのコミュニケーションをはかっています。	電話で意向を確認したり、個人ごとに今月のお便りを送り暮らしを伝えている。来訪時にはケアについて相談し介護計画に反映させている。意見などは家族談話表に記録しているが、今後は職員の気づきも含めて些細な思いを把握したいと考えている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月ユニット会議をおこない意見があれば実践しています。	ユニット会議では業務についての確認や、ケアの対応方法を話し合い、現場の意向に沿って変更している。管理者は人事考課の面談を行う際に、勤務表の調整や個人的な相談に乗り、業務が負担にならないよう配慮している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	介護現場に入り一緒に働き、職員の勤務状況を把握したり6月・11月の人事考課に面談をおこない意見を聞き職場環境の整備に努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修の参加や外部研修にも参加しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣のグループホームとの合同で事例検討や救命講習を開催しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(こはく館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居1年経った入居者様がいて認知症状や体の機能が衰えていく中、本人の言動や表情からお気持ちを汲み取り安心できるように心がけております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	来館時や電話でご家族の言葉を傾聴し良好な関係が保てるように心掛けています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人とご家族の意見・状態を見て一番良い支援を心掛けています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様の気持ちを聴き一緒にできる事(食器拭き・タオルたたみ・袋たたみ等)をおこなっています。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族には行事や日頃の様子をお伝えし、会話でご本人と共に過ごす時間が持てる様に支援しています。これからのケアも相談し一緒に考えていただいています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人と外出をする方には本人の状態をお伝えし、外出の支援をお願いしています。	友人と一緒に外出したり、居室で寛げるように配慮している。家族とお墓参りや法事、外食や買い物に出かけている。馴染みの理容室で職員と一緒に散髪をしたり、デイサービスの依頼で月に数回は1階に行き麻雀のメンバーとして参加している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	様々な状態の方がいる中で、歌を唄える場を作ったり、お喋りをしながら洗濯物をたためる場を作っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(こはく館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	平成20年に退去された方とは電話・年賀状のやり取りをしています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	好みの食べ物が食べたいと訴えが無くなった方には、声を掛け本人のお気持ちを確認しながら一緒に買い物に出掛けています。	会話が難しい場合も話しかけて普段の行動から思いを把握して可能な限り対応している。今後は入居時のセンター方式のアセスメント(B-3)シートを活用し、計画の見直し時に更新を考えている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族・本人より伺っています。『出来る事・出来ないことシート』で経過を見えています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	介護記録には本人の言動も記し職員間で共有しご家族にはひと月の様子を『今月の様子』として渡しています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族には面会時や電話で報告と次回のケアプランを説明し意見を伺っています。ユニット会議で職員の考えも入れてケアプランを作成しています。	ユニット会議で3か月毎にモニタリング評価を行い、計画作成担当者が中心に介護計画を作成している。日々の記録では介護計画の支援内容を印字しているが、実施した項目に○を示し、主に実施内容の記録になっている。	実施状況の○印以外の空白の項目にも印をつけて、一部、全く出来なかった様子を記載して計画の見直しにつなげるなど、分かり易い記録の工夫に期待したい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	『ケース記録』に個別の記録をしてケアの実践状況をわかる様になっているのと緊急性・重要性のあるものは『業務日報』の日中の様子・夜間の様子に個別に記載しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	家族が地方にいる方や、家族の受診対応が難しい方には職員が対応しております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	盆踊りや、芸能の集い等、地域の催しに参加しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医はご家族と本人の希望に沿うようになっています。	2か所の協力医療機関の訪問診療を受けている。かかりつけ医や専門的な他科受診時は家族が対応し、家族の事情で職員が同行することもある。往診・受診・健康内容を「特記事項」の用紙に記録し、個人ファイルに綴っている。	

グループホームユニティー旭神

自己評価	外部評価	項目	自己評価(こはく館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師による週一回の健康チェックがあり、常に連絡できる体制になっており、体調の変化に応じて報告し指示を仰いでいます。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には介護書を作成して申し送りをおこなっています。入院中も様子を伺いご家族の意向を聴き取って介護・看護につなげています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した時は医師と家族とホームとで話し合っています。	利用開始時に重度化への対応や看取りの考えを文書で説明し、対応が難しい事例も伝えている。看取りを行う場合は、「看取り介護に関する同意書」を個別に作成する。法人他事業所の看取り経験を活用して研修会を考えている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故発生時の対応マニュアルは見やすい所に提示しています。近隣ホームの方と一緒に救命講習を受けています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防訓練(年2回)はおこなっています。内1回は地域の方にご協力いただいております。	デイサービスと合同で昼夜想定自主訓練を行い、町内会役員の下で水害想定訓練も行っているが消防署の立ち会いは得られていない。法人で非常災害対策マニュアルを作成しているが情報を共有する迄には至っていない。	次回には消防署の立ち会いと住民の協力を得て夜間を想定した避難訓練の実施に期待したい。また「非常災害対策マニュアル」を職員間で共有し、災害時の対応について確認する事を期待したい。

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	出来る事・出来そうな事・出来ない事を見極めそれぞれの場面で不快にならないように伺いながら支援しています。	利用者の呼びかけは「さん」づけとし、気になる対応があれば職員が互いに注意し合っている。新人研修や法人内研修で接遇を学んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の希望・要望を伺って返答に困っているようなら二者選択出来る様にしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の体調に合わせて本人にどうしたいのか？伺って毎日を過ごしています。(入浴の順番や口腔ケア等)朝が苦手な方は朝食時間も遅らせて召し上がっています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	脱衣所に櫛を用意し整髪出来る様にしています。毎日リップクリームで唇を保護しています。男性はシェーバーを渡し毎朝髭剃りが出来る様子を支援しています。		

グループホームユニティー旭神

自己評価	外部評価	項目	自己評価(こはく館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	収穫した枝豆の豆を取り、茹でた後はすりつぶし、ご飯をこねてずんだ餅を作り美味しく頂きました。芋団子も入居者様・職員と一緒に作っております。	ユニットごとの別のメニューで、弁当を購入したり寿司の出前を取ることもある。利用者は食材の買い物やおやつ作り、配膳、下膳、後片付けなどを手伝っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分量はチェックしており不足しないように気をつけています。お茶が進まない方には寒天ゼリーを提供することもあります。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアの介助・見守りをしています。先に出来る事をしていただき最後は職員が仕上げ磨きをしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	自力で立てない方には2人介助でトイレでの排泄をする機会を作っています。時間をみながらのトイレ誘導もおこなっています。	誘導や介助の必要な方は排泄状況を記録し、パターンを把握している。誘導時は羞恥心に配慮し、直接的な表現を避けている。利用者の状態に応じて、ベッド上で排泄用品の交換を行う方もいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝、起床後にヨーグルトを摂取したり、食物繊維を多めにとるように心掛けています。排便を促す為に体操や歩行運動もとりにれています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴剤を入れ楽しんでもらったり、本人の希望に合わせてゆっくり入っていただいています。拒否がある方には翌日に延ばしたり順番を変えたりタイミングを図ってお誘いしています。	毎日入浴可能で、主に午後に各利用者が週2回程度入浴している。利用者の意向にあわせて日にちをずらして誘ったり、職員の見守りのもと一人で入る方もいる。入浴剤を使用したり、入浴時は職員との会話を楽しんでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ソファで昼寝をされたり午後より居室にて休まれるなど自由に過ごしていただいています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	正確に服薬できるように見守り介助し身体状況の変化に注意を払っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	歌の好きな方に唄っていただいて周りの方も参加して一緒に歌ったり、コーヒーの好きな方には飲みたい気分が聞き提供しています。居室でテレビを視聴している方には飲み物を届けています。		

グループホームユニティー旭神

自己評価	外部評価	項目	自己評価(こはく館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日は近所を散策しています。友人の支援で外食や絵画の展覧会・奥様との面会等おこなっています。	日常的に周辺や近くの公園、河川敷に散歩に行き、車いすの方も一緒に出かけている。玄関前で外気浴や焼き肉をすることもある。行事では、花見や冬まつり見物、初詣のほか、動物園、森林公園、旭川駅周辺などにもデイスービスの車を借りて出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	『お金』の意味が理解できなくなり所持することもなくなりました。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話を掛けたいと希望があればすぐに対応しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	室温・湿度は1日2回確認し調整しています。季節ごとにリビング内を一緒に飾り付けています。	共用空間は明るく清潔で、畳敷きのコーナーもあり、快適に過ごすことができる。浴室やトイレも使いやすく造られている。サンルームやエレベーターホールから外の景色を眺めることができる。フロアが2階と3階のため、日当たりがよい。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人掛けソファで童謡を聞いたり、和室では仲の良い方と洗濯物をたたまれています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	仏壇や人形を置いたり、家族の写真を飾っています。観葉植物も育てています。	居室にベッドやたんす、鏡台、本棚、縫いぐるみなど利用者が馴染みのものを持ち込んでいる。壁には、家族の写真や職員からの寄せ書き、カレンダー、時計などを自由に飾っている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリー作りなので入浴時の移動や車椅子での自操など自分の力で出来る様に支援しています。トイレ戸に「トイレ」と表記しわかりやすくしています。		



自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0172902504		
法人名	株式会社 アクティブ・ケア		
事業所名	グループホームユニティー旭神(さんご館)		
所在地	旭川市旭神2条4丁目10番4号		
自己評価作成日	平成30年1月	評価結果市町村受理日	平成30年2月21日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者様の心身の健康が維持され、「出来ること」を少しでも長く継続ができるように支援をしております。  
 近隣に旭神中央公園があり盆踊りに参加したり、地域の行事や親睦会に参加をしております。  
 平成25年より「みのりの会」も続いており、お食事やおつまみに工夫を凝らしノンアルコールビールと一緒に楽しませております。毎月レクリエーションもおこない、夏は外食・外出をし冬は室内でのミニ運動会やご家族様参加の忘年会もおこない楽しみの持てる時間が増えるように考えております。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.hlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail.2017.022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0172902504-00&amp;PrefCd=01&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.hlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail.2017.022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0172902504-00&amp;PrefCd=01&amp;VersionCd=022</a>
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成30年1月31日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) ○	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19) ○
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) ○	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) ○
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) ○	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) ○
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) ○	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12) ○
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) ○	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う ○
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) ○	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う ○
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) ○		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価(さんご館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域活動への参加を積極的に支援し地域に根ざしたサービスを提供します、という理念を掲げ職員間で共有しています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し、資源ごみの協力に参加したり、町内のイベントへは参加できるようにしています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方々へ積極的に行っていませんでした。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1度、開催し町内の方、ご家族からの意見を取り入れています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	疑問に感じたことは、直接市の窓口へ行き教えていただいています。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束については社内に委員会があり、会議等又は資料等を通して情報を共有しています。離床時に転倒の危険がある方や帰宅願望のある方にはベット側・玄関に赤外線センサーを設置しています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止は委員会や講習参加者の報告書を回覧し確認しています。		

グループホームユニティー旭神

自己評価	外部評価	項目	自己評価(さんご館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性に関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	『成年後見制度』の講習会に参加し、後日、生活保護の方について市の担当者と話し合いをしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	新規契約があり、契約時にはご家族の理解を得られたとおもいます。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日ごろから入居者様との話を汲みとり、面会時にはご家族とのコミュニケーションを大切にし気兼ねなくお話ししていただける雰囲気作りを心がけております。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月行っているユニット会議で話し合いを行い良い方向に向かうように実践しております。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	6月・11月の人事考課時に面談を行い勤務環境の整備に努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(3か月・1年・2年)研修を社内で行っています。また外部研修も職員に回覧し参加しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣のグループホームと合同で事例検討や救命講習を開催しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(さんご館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	昨年10月に入居されていますが、ご家族からの情報を含め入居前・入居後の行動や発言を観察しながら安心していただけるように関係を作っています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居者様の状況を面会時や電話等で報告し安心して話していただけるように心がけています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	情報収集を含め、現在の入居者様の様子・変化を一番に考え介護計画に反映させています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様の持つ力や考えを出せる機会を作り、生活の中に反映させています。(工作や牛乳パック切り等)		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	定期的なお手紙や面会時のお話等、色々な面から考えられるようにお話できる機会を作っています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	デイサービスへボランティアとして参加し、顔なじみの方との交流も行っています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	色々な性格や本人の状況の中で、職員が間にはいりコミュニケーションをとったり入居者様の希望を聞いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(さんご館)		外部評価	
			実施状況		実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去された入居者様のご家族より年賀状が届いています			
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	場面に応じて希望や想いを傾聴し、その都度できるだけ優先するようにしています。			
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の状況をセンター方式を利用しご家族に協力いただいたり、担当ケアマネージャーからの情報を利用しています。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様の行動・言動・健康状態等、毎日の様子は介護記録に残し職員間で共有しています。			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人・ご家族の希望、要望、意見を尊重し、3か月毎に計画を見直しミーティングで話し合い次に繋げています。			
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別のケース記録には、介護計画とともに日中・夜間の状況が分かるように記録していき、職員間で共有し、検討しています。			
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	併設のデイサービスへボランティアとして麻雀にいかれたりして楽しみがもてる方もいます。			
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の敬老会への参加のお誘いをいただいています。			
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医の受診介助や医療連携の病院での対応もしており、入居者様の訴えや変化がある時に連絡を行っています。			

グループホームユニティー旭神

自己評価	外部評価	項目	自己評価(さんご館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師による週一回の健康チェックがあり、常に連絡できる体制になっており、体調の変化に応じて指示を仰いでいます。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には情報提供をし、ご家族と連絡をとり面会に行っています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	体調の変化に応じて、医師・ご家族と今後について話し合いをもちます。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救命講習への参加や非常時対応マニュアルを用意しています。ホームにAEDも設置しており使い方も学んでいます。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、避難訓練を行っています。火災・水害・夜間想定訓練をおこないました。		

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	それぞれの性格や心身の状態を考慮し、不快な気持ちにならないように配慮しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の希望・意見を聞き、自己選択・自己決定できるような声かけを行っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様ひとりひとりのペースに合わせて声をかけています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人・ご家族の希望に合わせて訪問理容を行っています。髭や爪等も配慮し確認します		

グループホームユニティー旭神

自己評価	外部評価	項目	自己評価(さんご館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	もやしのヒゲとりや盛り付け等、出来る方には手伝っていただいています。お盆を拭いたりテーブルを拭いたり、洗濯物たたみ等できる力を発揮しています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食の食事量・水分量を記録し状態を把握しています。嚥下の様子を見て、とろみを使用しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアの声かけをし、仕上げ磨きの介助を行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	トイレでの排泄ができるように、時間をみて声かけをしたり、行動を観察しながら誘導したりしています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	体操や歩行を促し体をうごかすよう声かけを行っています。野菜ジュースや牛乳や食物繊維が豊富な食事も考慮しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	本人の体調や希望を聞き週2回以上入浴できるように案内しています。希望により、時間をずらしたり別の日になることもあります。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その日の体調や気持ちに合わせて、居室で休まれたりリビングのソファで休まれたりしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの薬の説明書をファイルに収め、変更が或る時には記録に残して情報の共有をしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	掃除が得意な方には、感謝の気持ちを伝えながら一緒に行います。希望があれば嗜好品を代理購入したり、歌うことで気持ちがすっきりする方もいますので、支援します。		

グループホームユニティー旭神

自己評価	外部評価	項目	自己評価(さんご館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	畑を見に行きたい等の希望があったり、天候をみて散歩に出かけられるよう支援しています。天気の良い日は月1回ですが数人での外出も行っていきます。ご家族参加で『旭山動物園』に出掛けてきました。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在はご自分でお金を管理されている方はいません。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があればいつでも対応できる状況にあります。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	気温・湿度を適温に保ち、換気も行います。季節に応じて掲示物や装飾も変化をつけています。3階なので周りに建物が少なく日当たりが良いです。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	席は決まっていますが、状況に応じて空いている場所に移動し入居者様同士でお話をすることもあります。のんびりソファで休まれたりすることもあります。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具や小物を置いている方も沢山いて、安心されている様子です。お花や家族写真等、個々に応じて好みの物を置いています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	車椅子使用の入居者様が多いので、安全に移動できるように館内はバリアフリー仕様なと通路に物をおかないように充分配慮しています。全域に渡って手すりも付けられています。		



目標達成計画

事業所名 グループホーム ユニティ旭神

作成日：平成 30年 2月 18日

市町村受理日：平成 30年 2月 21日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	町内役員の協力のもと、昼夜想定避難訓練をおこなっているが、消防職員の立ち会いはおこなっていない。	消防職員の立ち会いと住民の協力を得て、夜間を想定した避難訓練をおこない、非常災害対策マニュアルを職員間で共有する。	消防職員と町内の方に協力をいただき、夜間想定避難訓練をおこなう。避難訓練をおこなう月のミーティングで非常災害対策マニュアルを職員間で確認していく。	1年
2	26	日々の記録は介護計画の支援内容を印字し、実施した項目に○印を示し、主に実施内容の記録になっている。	介護計画の支援内容で出来なかった様子を把握し計画の見直しにつなげる。	実施状況の○印以外の空白の項目にも印をつけて一部・全くできなかった様子を記録し介護計画の見直しにつなげる。	1年
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。